



研究技術内容

【主なテーマ】

- ・「焦げ臭」をターゲットとした新しい火災感知器の開発
- ・ニオイの差による製品の品質管理
- ・機械による人と同様のニオイ判別方法の開発

技術要点説明



コーンカロリメータ試験装置



におい識別装置
(島津製作所、FF-2A)

コーンカロリメータ試験装置や小型燃焼実験時に発生するニオイをニオイ識別装置で解析します。
におい識別装置は、成分分析ではなく、ニオイのパターン分析となっています。
成分については、FT-IR等を用いて計測することができます。

産業への活用方向

悪臭防止法にも定められているように、敷地から排出されるニオイに規制がかかっています。排出されるニオイを計測器で測定し、評価することができます。

関係する大学・企業等

横浜国立大学、信州大学

研究室概要

研究分野	社会・安全システム
主研究テーマ	環境安全、火災安全、品質管理
主要キーワード	ニオイの訂正分析、定量分析、材料試験
研究室 HP	https://www.sus.ac.jp/professor/kd_14kamiya/

特記事項

○シーズの熟度

木材やプラスチックが酸化熱分解時に発生するニオイを測定を行い、新しいニオイ感知ができる可能性が高い事を実験的に明らかにしています。